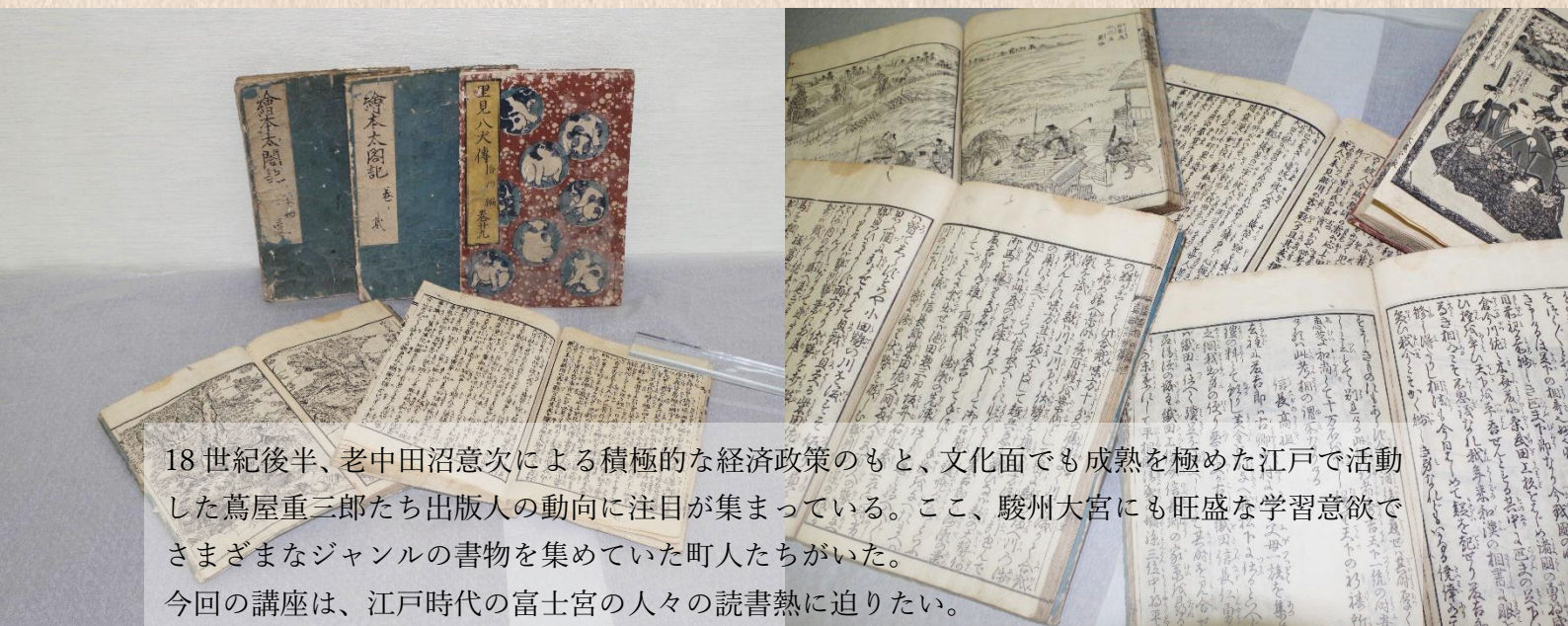


書物を読む富士宮の人々

つたやじゅうざぶろう

たぬまおきつく

一 蔦屋重三郎・田沼意次の時代の読書熱 一



18世紀後半、老中田沼意次による積極的な経済政策のもと、文化面でも成熟を極めた江戸で活動した蔦屋重三郎たち出版人の動向に注目が集まっている。ここ、駿州大宮にも旺盛な学習意欲でさまざまなジャンルの書物を集めていた町人たちがいた。
今回の講座は、江戸時代の富士宮の人々の読書熱に迫りたい。

講師

岡村 龍男

豊橋市図書館学芸員、NPO 法人歴史資料継承機構理事
富士宮市史執筆員

駒澤大学大学院人文科学研究科歴史学専攻博士後期課程単位取得退学。埼玉県立文書館、静岡市文化財課、島田市博物館を経て、現在愛知県豊橋市図書館学芸員。NPO 法人歴史資料継承機構理事としても活躍。

富士宮市史執筆員で「富士宮の歴史 通史編Ⅱ（近世）」の執筆を務める。

日本近世史・近代史（近世後期から明治初年）を専攻し、茶生産・流通と地域社会、駿府を中心とした地域社会の展開について研究している。主な著書として「東海道小夜中山名物飴餅の生産・販売訴訟と領主」（『和菓子』31号）、『渋沢栄一と静岡一改革の軌跡をたどる』（静岡新聞社）などがある。

日時

2025 年 **9** 月 **20** 日（**土**） 15:00～16:30（開場 14:30）

会場

駅前交流センターきらら 集会室（富士宮市中央町5-7）

定員

80人（先着順）

入場料

無料

【申し込み】 8月25日(月)から電話・WEB サイトで受付

電話

0544-22-1187（富士宮市文化課 平日 8:30～17:15）

WEB

<https://logoform.jp/form/GgrE/1132077>



Web 申込はこちら 